

	<b>釧路市立鳥取小学校</b>	<b>学級数</b>	<b>15</b>	<b>児童生徒数</b>	<b>357</b>	<b>開校131周年</b>
<b>教育目標</b>	<p>【開校の様子】          明治20年（1887）5月13日、第一鳥取小学校として、鳥取番外地に新校舎が落成、開校した。          大正から戦前にかけて、鳥取商工学校への改称、鳥取家政女学校・鳥取青年学校の併置、鳥取村立鳥取国民学校への改称を経て、昭和24年釧路市との合併により釧路市立鳥取小学校と改称し、現在に至る。          鳥取士族が移住した地域の学校としての誇りを持った伝統ある学校である。</p>					
<b>学校経営の方針</b>	<p>「よく考え、進んでやりぬく子」          ○なかよく 助け合う子          ○進んで 人のためになる子          ○よく考え つくりだす子          ○じょうぶで ねばり強い子</p> <p>心身共に健康で自主的に学び、未来を創造する子どもの育成と子ども一人一人のよさを伸ばす教育の実践に努める。          ○「生きる力」を育む教育課程の編成          ○望ましい人間関係を適切に支援し育む学校          ○生命を尊重し・安全を大切にす学校          ○即応性があり信頼と期待に応える学校          ○教職員の資質向上を目指した研修の推進          ○教育環境がより一層整った学校</p>					
<b>今年度の重点課題</b>	<p>【重点1】生きる力をバランスよくはぐくむ教育活動の推進          ○確かな学力・豊かな心・健やかな体や体力の育成          【重点2】自己研鑽に励む教職員による協働体制の推進          ○教師力・組織力の向上          【重点3】信頼を深める家庭・地域及び関係機関との連携          ○家庭・地域・関係機関（幼・保・中・大学、児童館、グループホーム等）との連携</p>					
<b>研究主題</b>	<p>「自ら考え、互いに高め合う児童の育成          ～全員が参加し、学び合う授業づくりを目指して～」</p>					
<b>地域・児童生徒学校の実態</b>	<p>国道38号線を挟んで大型商業施設や工場などが立ち並ぶ中に住宅が密集する地域で、交通量が多い。          鳥取士族の開拓によって幕を開けた歴史ある土地柄であり、地域と学校との結びつきが強く、学校へのボランティア活動が盛んに行われている。          多くの地域の方々に見守られ支えられた恵まれた教育環境の中で、子どもたちが伸び伸びと学習に取り組んでいる。</p>					
<b>特色ある教育活動</b>	<p>○「鳥取シャンシャン傘踊り」          ○「鳥小ケチャ」          ○「少人数による学習指導（算数）」</p>					
<b>具体例</b>	<p>【鳥取シャンシャン傘踊り】          地域の伝統芸能の傘踊りは、高学年児童が運動会の種目として毎年練習・披露し、永年引き継がれてきている。自分たちが住むまちの歴史や文化を実感する貴重な機会となっている。</p>  <p>【鳥小ケチャ】          朝会や六年生を送る会などの行事の際、全校児童が大きな声と手拍子でセリフをつないでいく「鳥小版群読」。平成2年11月の研究発表会で披露。それ以後、脈々と受け継がれてきており、全校児童一人一人が鳥取小学校の児童としての責任感・一体感を実感する取り組みである。</p> <p>【少人数による学習指導】          小グループによる学習など一人一人の学習状況に応じた指導形態を工夫し、学力向上に努めている。</p> 					